



無料サンプリングやいちごアトラクションも大好評 横浜赤レンガ倉庫一帯でいちごをPR!

ヨコハマストロベリーフェスティバル 2018

- 期日：2月2日(金)～2月12日(月)
- 場所：横浜赤レンガ倉庫 イベント広場
- 主催：横浜赤レンガ倉庫(株)横浜赤レンガ、(公財)横浜市芸術文化振興財団
- 協賛：栃木いちご消費宣伝事業委員会(JA全農とちぎ)等
- 内容：ブランドいちごのサンプリング、いちごスイーツや雑貨の販売等

過去最多の21店舗がイベント限定スイーツを販売!

いちごの美味しいこの季節に、横浜赤レンガ倉庫がいちご一色に染まるイベント「ヨコハマストロベリーフェスティバル 2018」が2月2日から10日間の日程で開催されました。このイベントは2013年に初開催され、今回で6回目になります。

ブランドいちごの無料サンプリングや横浜市いちご農家の出張販売、いちごアトラクションやいちごヨーグルトの試食等様々なイベントが行われました。

特設テント内では、今回初出店の2店舗を含め、過去最多の21店舗が出店し、各店こだわりのここでしか味わえない、イベント限定のいちごスイーツやいちごの雑貨などを販売していました。また、イベント期間中は赤レンガ倉庫館内もいちごにちなんだ飲食メニューや雑貨等が販売され、イベント会場だけでなく、横浜赤レンガ倉庫一帯がいちごに包まれていました。

いちご4品種の無料サンプリングは大好評!

ブランドいちごの無料サンプリングは、千葉県「チーバベリー」(協力：千葉県)、栃木県の「とちおとめ」と「スカイベリー」、福島県の「ふくはる香」(協力：福島県いわき市)の4種類で、各地のマスコットキャラクターがPRするとともに配布が行われました。

千葉県は2017年1月から千葉県内のいちご狩りや直売を中心に販売を開始したいちご新品种「チーバベリー」は、大粒で果汁がたっぷり、程よい酸味と鮮やかな赤色が特徴です。千葉県ブースでは、千葉県内のいちご農園(65カ所)と飲食店・菓子店(87店舗)が連携して行う「ちばいちごフェア 2018」の紹介や「チーバベリー」の特徴、千葉県でのいちご狩り等についてPRしていました。

「横浜市ブース」では、8カ所のいちご狩りほ場が紹介され、主に栽培されている「とちおとめ」、「章姫」、「紅ほっぺ」、「さちのか」等の食味や果実の特徴をPRしていました。

赤レンガ倉庫の34店舗からは、「とちおとめのミルフィーユパフェ」、「イチゴ100%のスパークリングワイン」、「蒟蒻しゃぼん(いちご)」等の様々ないちご関連商品が販売されていました。



ヨコハマストロベリーフェスティバル会場の様子



横浜赤レンガ倉庫一帯でいちごをPR



横浜市ブース



千葉県ブース